

## 「第8回おでかけ交通博 2023in もりおか」を開催しました！

令和5年10月27日（金）にいわて県民情報交流センターにおいて「第8回おでかけ交通博 2023in もりおか」を開催しました。（共催：盛岡市 協力：福島大学）

「おでかけ交通博」は、主に地方公共団体の交通担当者や交通事業者等を対象として、喫緊の課題である地域の「おでかけの足」について考えるきっかけとするべく、福島大学の協力を得て、平成27年より開始し、これまで7回、東北各地で開催してきました。新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、オンライン形式の特別版として開催した時期もありましたが、今年も仙台に続き対面集合形式で開催することができ、総勢160名の参加となりました。

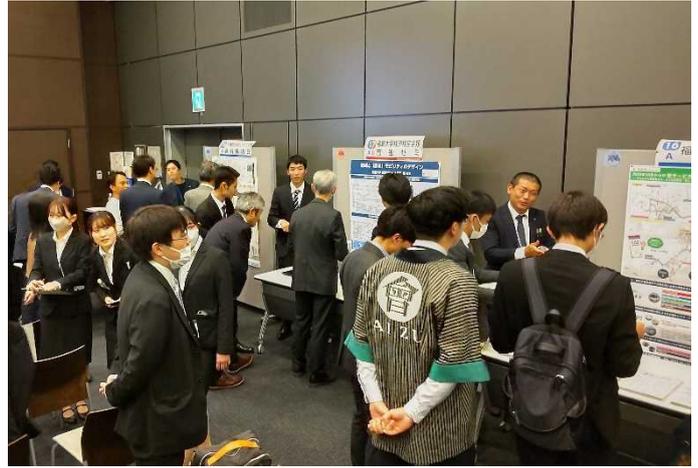
午前中は「トークセッションwith 東北仕事人」と称し、開催地域の交通やまちづくりに携わる方々と、東北各地の公共交通に携わる有識者である「地域公共交通東北仕事人」（以下、「東北仕事人」）にご登壇いただき、パネルディスカッションを行いました。東北仕事人でもある福島大学・吉田樹准教授にコーディネーターを務めていただき、パネリストとしては、地元の自治体の盛岡市、滝沢市、矢巾町、お隣の県からは青森県八戸市、秋田県大潟村、そして福島県会津若松市、東北仕事人からは岩手県立大学の宇佐美誠史准教授にご登壇いただきました。

各登壇者からは、「複数市町村の連携による広域での計画策定」をテーマに、各自治体の抱える課題や広域計画策定、広域での施策の事例、広域計画に向けての期待や課題、取組のポイントなど、登壇者間での議論をいただきました。



【トークセッションの様子】

午後には、東北各地の自治体や交通事業者などの計16団体に出展いただき、ポスターセッションを実施しました。各団体から1分間で取組をPRしていただき、その後、取組をまとめたポスターや資料により、それぞれの取組について説明いただきました。参加者は興味関心のある団体の取組について、担当者より詳細を伺いながら意見交換を行いました。



【1 ミニッツPR・ポスターセッションの様子】

また、翌日 28 日（土）には「エクスカーショ」を開催しました。参加者を 2 つのグループに分け、盛岡バスセンター、盛岡城跡公園やその界隈、木伏緑地等を盛岡中心市街地循環バス「でんでんむし」を利用しながら見学し、盛岡市内の「おでかけ」を体験していただきました。



【盛岡バスセンター内】



【盛岡城跡公園】



【盛岡中心市街地循環バス「でんでんむし」】



【木伏緑地】

大変多くの方にご参加いただき、盛況となりました。また、参加者の皆様から、「大変有意義だった」「参考になる事例紹介がたくさんあった」など、多数の満足の声をいただいております。東北運輸局においては、今後もこのような機会を通じて、地域の「おでかけの足」の確保・維持・活性化に係る取組を後押ししていきます。